

奥尻消防署通信

消防車・救急車の緊急走行にご協力ください！！

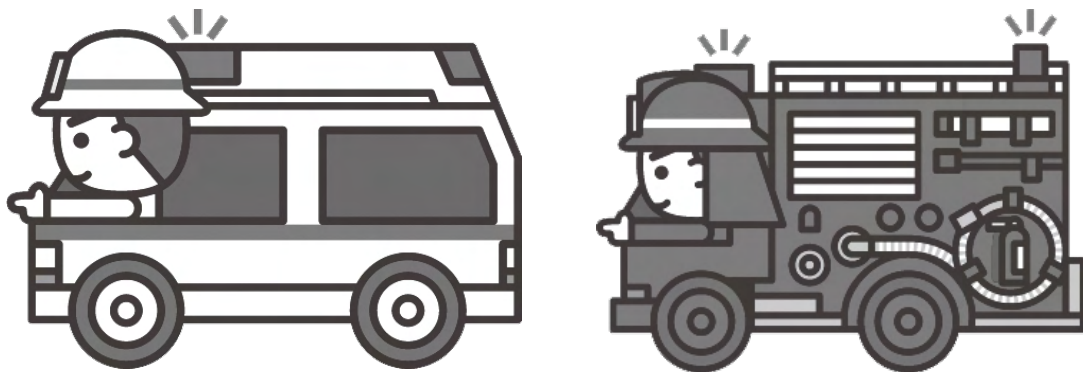
奥尻町内では昨年、1年間に100件近い火災・救急出動があり、9割以上の出動が救急車での出動となっています。サイレンを鳴らし、赤色回転灯を回転させて緊急走行する消防車・救急車は赤信号の交差点に進入することができるなどの「優先通行権」が道路交通法で定められています。また、一般の車両は、「消防車・救急車が接近してきた時は、道路の左側に寄って進路を譲らなければならない」と道路交通法で義務として定められており、緊急車両の走行を妨害した場合には反則金の罰則等が定められています。

消防車・救急車は速やかに災害現場へ急行し、応急処置や病院への搬送等の「命を救う活動」を一刻も早く実施しなければなりません。そのためには現場に安全に早く到着する必要があります。

消防車・救急車に認められた「優先通行権」は皆様のご理解とご協力によってより安全に行うことができ、1分1秒でも早く現場へ急行することができるようになります。

そこで、緊急車両への妨害行為や事故を未然に防ぐためにもハンドルを握る皆さんへ大切なお願いです。

1. 緊急車両が近づいてきた際には、慌てずに車を道路の左側に一時停止させ、速やかに進路を譲ってください。特に海岸線の道路は一車線の区間が多いので対向車通行にもご協力をお願いします。
2. 進路を譲る際はウインカーやハザードランプを点灯していただくとより安全に緊急走行をすることができます。
3. 交差点付近では、交差点内を避けて道路の左側へ寄って進路を譲ってください。
4. 見通しの悪いカーブはできるだけ避けて進路を譲ってください。
5. 緊急自動車の後ろに付いて走行するのは大変危険ですので、絶対にやめてください。



尊い命を救うためにご理解とご協力をよろしく申し上げます！！

インスタグラムで奥尻消防署の活動を配信中！

ぜひフォローしてください！！

@HIYAMA.OKUSHIRIFD



Sustainable island Okushiri Sustainable island Okushiri Sustainable island Okushiri

見つけた！まちのゼロカーボン



今回は、奥尻高校への出前授業として令和8年1月27日に実施した「脱炭素まちづくりカレッジ in 奥尻高校」についてご紹介します！（協力：檜山振興局環境生活課）

※脱炭素まちづくりカレッジとは、参加者が電力会社やスーパー、行政などの地域プレイヤーとなって、地域の活性化と脱炭素につながる様々なプロジェクトを実施し、地域全体の温室効果ガス排出量の半減を目指すゲーム体験プログラムです。

昨年12月におくしりゼロカーボン塾の一環としても実施しました。

①講義：ゲーム体験前に、温室効果ガス排出量の増加により想定される危機的な将来や温室効果ガスの排出量を実質0にする「カーボンニュートラル」の必要性などについて奥尻町ゼロカーボン推進課の職員が講義を行いました。



②ゲーム体験：地域のプレイヤーとなった生徒たちが、プロジェクトの実施に必要なお金カードやパートナーカードを生徒同士で譲渡・交換して、地域の活性化と排出量の半減を目指しました。



序盤は各テーブル内での交流のみで、排出量の削減が進まず、気候変動による被害が発生し、事業者の収益や行政の税収が減少してしまうなど苦戦する場面もありましたが、ゲームが進むにつれて、教室全体での協働が増え、排出量の削減効果の大きいプロジェクトが数多く実施されるなど、最終的には地域の排出量半減という目標を達成しました！地域の活性化を可視化したMAPもほぼ全て埋まり、結果発表では歓声上がるほど大いに盛り上がりました。



ゲーム終了時の地域の排出量・再エネ普及度メーター



③振り返り：ゲーム体験終了後には、体験を通じて感じたことや学んだこと、持続可能な地域づくりにつながる自分にできる行動について、グループワークと全体共有を行いました。生徒たちからは、「エコバッグやマイボトルを使う」といった身近な実践のほか、「プロジェクトの実施には多くの人の協力や理解、資金が必要だと実感した」「排出量が見える化すると意識が変わる」「家族や友人、地域の人に学びを伝えたい」などの声が聞かれ、脱炭素を自分ごととして捉える姿勢が見られました。



今回は奥尻高校3年生を対象に実施しました。参加した生徒の多くは卒業後に島を離れるとのことですが、「脱炭素まちづくりカレッジ in 奥尻高校」で得られた学びを各地で生かしてくれることを期待しています！

【お問い合わせ先】 ゼロカーボン推進課 ☎ 01397-2-3410

Sustainable island Okushiri Sustainable island Okushiri Sustainable island Okushiri Sustainable island Okushiri Sustainable island Okushiri

Sustainable island Okushiri Sustainable island Okushiri Sustainable island Okushiri Sustainable island Okushiri Sustainable island Okushiri

Sustainable island Okushiri Sustainable island Okushiri Sustainable island Okushiri Sustainable island Okushiri Sustainable island Okushiri

第49回町民スキー大会

2月7日（土）に、桜ヶ丘スキー場にて、第49回奥尻町民スキー大会を3年振りに開催しました。幼児から一般まで総勢34名が、スキー回転の部・滑降の部の2部門で競いました。

個人情報保護のためホームページに氏名等は掲載しません。

環境センターからのお知らせ

令和8年4月1日より、ごみ指定容器（ごみ袋・ごみ処理券）及び直接搬入ごみ処理手数料が変更になります



奥尻町では、ごみ指定容器（ごみ袋・ごみ処理券）、また焼却施設への直接搬入ごみ・埋立処分場への直接搬入ごみ及び産業廃棄物のごみ処理手数料を下記のとおり改定します。

【現行】

【改定後】

ごみ指定容器（ごみ袋・ごみ処理券）

令和8年3月31日まで	
・25ℓ指定袋（1枚）	60円
・45ℓ指定袋/処理券（1枚）	130円



令和8年4月1日から	
・25ℓ指定袋（1枚）	90円
・45ℓ指定袋/処理券（1枚）	160円

直接搬入可燃・不燃ごみ

令和8年3月31日まで	
・50kgまで	410円
・10kg増すごとに	80円



令和8年4月1日から	
・50kgまで	510円
・10kg増すごとに	100円

産業廃棄物（建築廃材・下水道汚泥・廃プラスチック）

令和8年3月31日まで	
・100kgまで	1,990円
・20kg増すごとに	490円



令和8年4月1日から	
・100kgまで	2,490円
・20kg増すごとに	610円

ごみの適正な排出にご協力ください

家庭ごみは、奥尻町の指定容器を利用し、ごみ収集カレンダーのとおり収集運搬を行っております。正しい分別方法を守り、指定されたルールに従って排出をお願いいたします。ご不明な点は奥尻町役場ゼロカーボン推進課環境センター係（奥尻町環境センター）電話3-2747番へお問い合わせください。



第47回 子ども芸術展

奥尻町教育委員会主催の「第47回子ども芸術展（書道・美術）」が1月24日から2月1日までの間、海洋研修センターホールにおいて開催され、文字芸術の書道と表現豊かな美術作品が展示されました。

入賞されました児童・生徒は次の通りです。

個人情報保護のためホームページに氏名等は掲載しません。



介護予防教室



お元気サロンを開催します!

毎月北部地区・南部地区でそれぞれ月に1回開催します。
みんなで集まり、楽しみながらこころもカラダも元気にしていきましょう。

北部地区

体操と脳トレレクリエーションで楽しく
介護予防しましょう。

南部地区

シニア運動教室と合同開催です!
『楽しくカラダを動かしましょう。』



会 場	開 催 日	時 間
保健福祉センター	3月4日(水)	13:30～15:00
青苗支所	3月18日(水)	13:30～15:00

問い合わせ先 暮らし安心課包括支援係 2-3408

高校生ビジネスプラン・グランプリ

株式会社日本政策金融公庫主催の第13回高校生ビジネスプラン・グランプリにて、今回初めて奥尻高校から2件の応募がされ、1件の企画が、高校生ビジネスプラン・ベスト100に選出されました。

全国の高校生がビジネスプランを提案する本大会。選出された奥尻高校3年 板垣秋佳里さんのプラン「奥尻創生雲丹物語」は、町の課題を探る中で、廃棄されるウニの殻に着目し、ウニの殻から抽出した色素で染色体験および染物の商品販売を行い、商品製造の過程で余った殻をウニランタンや肥料化する事業を発表しました。

審査員からは、事業のコンセプトが秀逸であること、環境問題の解決や観光需要の創出、雇用創出など町にもたらす効果が大きいことが優れたビジネスプランとして評価されました。

板垣さんは「捨てればゴミ、染めれば、奥尻の誇り。“私たちは、このビジネスを通じて奥尻島を“脱炭素の先進地”にしたいと考えている」と展望を語りました。



試作の染物



音響・法被を整備しました!～コミュニティ助成事業～

青苗町内会では今年度、宝くじの助成金で音響及び法被を整備しました。

今回の整備により、夏祭りの実施におけるコミュニティ活動の活性化が期待されます。

コミュニティ助成事業は、一般財団法人自治総合センターが、宝くじの受託事業収入を財源として実施している社会貢献広報事業で、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的として行われているものです。



奥尻商工振興会発行 共通商品券発売中!

【商品券をいただいたとき】町内の加盟店でお会計の際に使用できます。

【贈呈品のご利用に】新入学のお祝いや各種イベントの景品や謝礼など幅広くご利用いただけます。

※商品券は「500円券」「1,000円券」の2種類です。

※有効期限は発行日より6ヶ月です。



商品券は奥尻商工振興会事務局(奥尻商工会内)で発行しています

奥尻商工会 TEL: 01397-2-3030



広 告

第51回衆議院議員選挙

奥尻町の選挙結果

奥尻町の投票率は72.06%でした

2月8日、「第51回衆議院議員総選挙及び第27回最高裁判所裁判官国民審査」が行われました。
奥尻町における小選挙区選出議員選挙と比例代表選出議員選挙は、ともに投票率72.06%で、前回（令和6年10月27日）の投票率（74.71%）と比較し、2.65%下回りました。

●小選挙区選出選挙 投票結果●

候補者名（所属の政党）	得票	投票者数	1,367票
おおさか 誠二（中道改革連合）	469票	有効投票	1,305票
向山 じゅん（自由民主党）	836票	無効投票	62票

●比例代表選出選挙 投票結果●

政党名	得票	政党名	得票	投票者数	1,367票
日本共産党	51票	自由民主党	692票	有効投票	1,333票
国民民主党	84票	れいわ新選組	35票	無効投票	34票
中道改革連合	308票	チームみらい	33票		
日本維新の会	25票	日本保守党	19票		
社会民主党	11票	減税日本・ゆうこく連合	9票		
参政党	66票				

●各投票区の投票率●

投票区	投票率	投票区	投票率
第1区	79.01%	第5区	61.67%
第2区	76.88%	第6区	65.15%
第3区	76.65%	第7区	73.68%
第4区	80.00%		



融雪について

気温が上がってくると、積雪が解ける現象である「融雪」が進みます。融雪により、なだれや土砂災害、浸水害、洪水害が発生するおそれがあります。

なだれは急な斜面で発生しやすく、気温が高くなるこれからの季節も注意が必要です。

また、大量の雪解け水が発生すると、がけ崩れや土石流などの土砂災害や、河川の水位が上昇して水があふれ出る洪水害、低い土地が水につかってしまう浸水害が起こるおそれもあります。

気象庁では、なだれや融雪による災害が発生するおそれがある場合には、「なだれ注意報」や「融雪注意報」、「洪水注意報・警報」を発表して、注意を呼び掛けています。

最新の防災気象情報は、気象庁ホームページで確認できます。



気象庁ホームページ「渡島・檜山地方の防災気象情報」